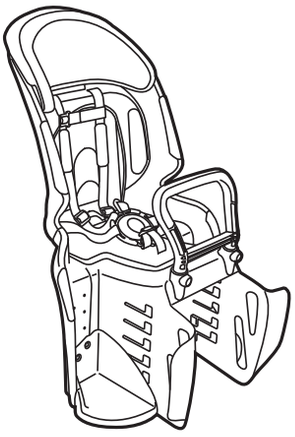
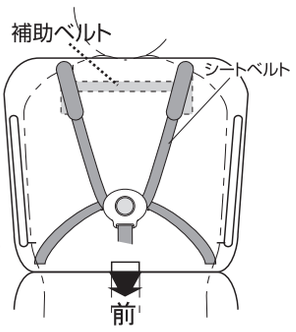
OGK ヘッドレスト付コンフォートうしろ子供のせ<RBC-011DX> 取付取扱説明書

取扱い注意事項 この説明書は、ご使用の前に必ずお読み下さい。読まれた後は大切に保管して下さい。



この子供のせには
5点式シートベルト（補助ベルト付）が
採用されています。



⚠ 注意
- 補助ベルトは必ずお子様の背中側にくるようにして下さい。
- シートベルトを装着してから使用して下さい。
- お子様の首に巻き付いたり体を圧迫しないように留意して下さい。

⚠警告：お子様の足部安全の為、後ろ車輪に必ずドレスガード（巻込み防止ネット）を装着して下さい。

●適用年齢:2～5歳くらいのお子様。●適用体重と身長:体重20kg以下、身長115cm以下（クラス25後ろキャリヤ使用時）、体重22kg以下、身長115cm以下（クラス27後ろキャリヤ使用時）
●適合車種:後ろキャリヤの幅が150mm以上173mm以下の22～27型婦人車、軽快車（※両立スタンド装着車に限る。※ドレスガード付自転車に限る。）
⚠ 注意:ご使用になられるお子様の年齢及び体格を確認し、指定範囲以外のご使用はしないで下さい。

⚠警告

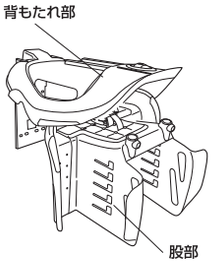
●これは自転車用のうしろ子供のせです。他の目的に使用しないで下さい。●取付け作業は販売店で行って下さい。●一本スタンドの自転車には取付けしないで下さい。必ず、ロック付の両立スタンドをお使い下さい。●自転車及び後ろキャリヤの取扱説明書をよく読んで、子供のせが取付け可能であるかどうか確認して下さい。（子供のせの取付けを禁止している自転車や後ろキャリヤには取付けられません。）また、自転車の取扱説明書に後ろキャリヤをクラス25以上に交換すれば子供のせが取付け可能な旨の記載がある場合はその指示に従って、自転車店で後ろキャリヤを交換の上、取付けて下さい。自転車の取扱説明書に記載がない場合は自転車店にご相談下さい。●自転車に取付ける子供のせは1つに限り、同乗させるお子様は1人に限ります。但し、幼児2人同乗用自転車の場合は、自転車店に相談するか、自転車の表示や取扱説明書で本製品が取付け可能な子供のせであることを確認の上、前用子供のせと合わせて2つ取付けることができます。●お子様には適正なヘルメットを着用させて下さい。ヘルメットを着用させないで子供のせにお子様を乗せると事故の時に致命的な障害を受ける確率が高くなります。又、運転なさる方も出来るだけヘルメットを着用して下さい。（SG マーク付のヘルメットをお奨めします。）●お子様の足部安全の為、必ずドレスガードと併用して下さい。後ろ車輪にドレスガードの付いていない自転車には必ずドレスガードを取付けて下さい。●使用中、お子様の手足が届く範囲に自転車錠がある場合は、錠が作動する場合がありますので、その位置には充分注意して下さい。●子供のせの取付位置はペダルを漕いだ時、運転なさる方のかかとが子供のせに触れない場所に取付けて下さい。●自転車に子供のせを取付け、お子様を同乗させることにより、自転車のハンドル操作や走行安定性を損ない、ブレーキをかけた時には制動距離が長くなります。●使用する時は子供のせの取付けが確実であることを確認し、破損、変形等したまま使用しないで下さい。

⚠注意

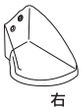
●お子様を乗せたまま絶対に自転車から離れないで下さい。（目を離したすきに、転倒等で怪我をなさると大変です。充分ご注意下さい。）●お子様を乗せたまま自転車から短時間であっても手を離さないで下さい。●お子様を乗せおろしする時は必ず平坦な場所でスタンドをロックして行って下さい。●お子様を子供のせに乗せる時は荷物等を積んだ後に乗せ、おろす時は荷物等をおろす前にお子様をおろして下さい。●お子様には必ず靴を履かせて下さい。●お子様を乗せる時には、お子様が正しい姿勢であることを確認し、特に足部が車輪等に巻き込まれないよう、その位置に留意して下さい。●シートベルトが車輪に巻き込まれないように注意して下さい。●お子様を乗せる時は必ずシートベルト（肩ベルト･腰ベルト･股ベルト）を使用して下さい。●子供のせを雨ざらしにしないで下さい。●お子様の首にシートベルトがかからないよう留意して下さい。●乗車及び走行中はお子様がニギリをしっかり握るように留意して下さい。●お子様が眠らないように注意して下さい。●走行中は急ブレーキ、急ハンドルは避けましょう。●悪路走行やアクロバット走行を行わないで下さい。●火気高温に近づけないで下さい。●ヨゴレは水を含ませた雑巾等で拭取って下さい。シンナー･ベンジン等は付着させないで下さい。●シートベルトの寿命は約2年です。異常が無くても2年に一度、交換して下さい。（有料）●使用にあたっては交通法規を守って下さい。

部品構成

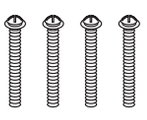
本体…1個



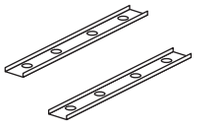
ステップ…右左各1個



取付ネジ…4個



取付ステー…2個

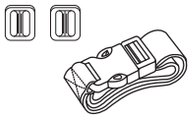


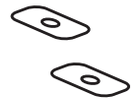
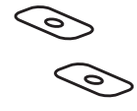
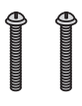
ハンドル…1個

付属工具
レンチ

ツバ付袋ナットを押さえるのに使用して下さい。

安全ベルト…1セット



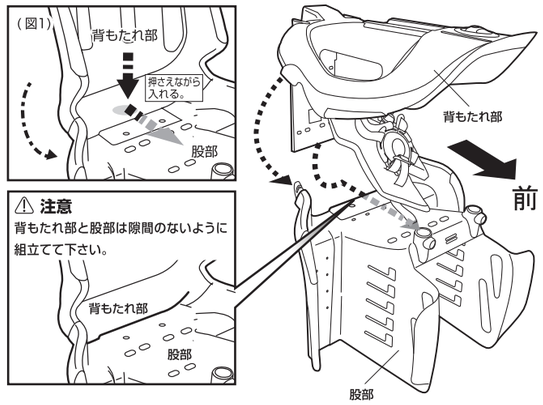
部品セット H ハンドル取付用ネジセット	部品セット S ステップ取付用ネジセット	部品セット C 背もたれ部･股部中心ネジセット	部品セット F 背もたれ部･股部両端ネジセット
ツバ付袋ナット…2個	ツバ付袋ナット…4個	平座金…2個	平座金…2個
			
M5X45ネジ…2個	M5X15ネジ…4個	M5X15ネジ…2個	M5X35ネジ…2個
			

組立て方･取付け方

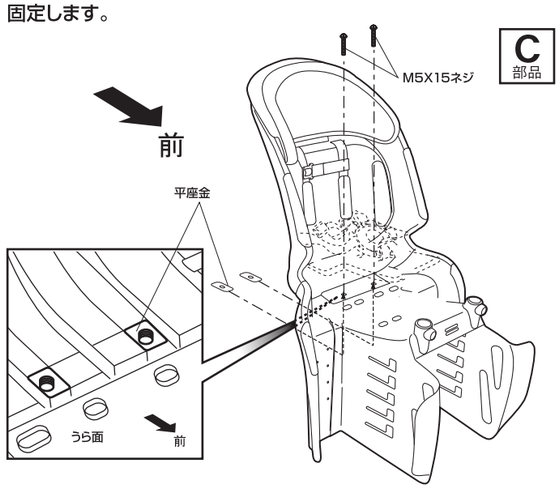
① 股部の底面に背もたれ部をあてがい、本体を組立てます。

ポイント

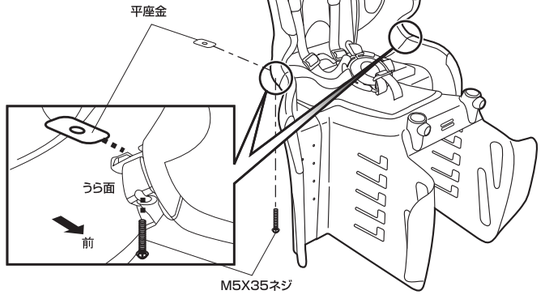
本体を組立てる時に、背もたれ部と股部をつなげる時は、背もたれ部の底面を押さえながら股部の底に入れると組立てやすくなります。(図1)



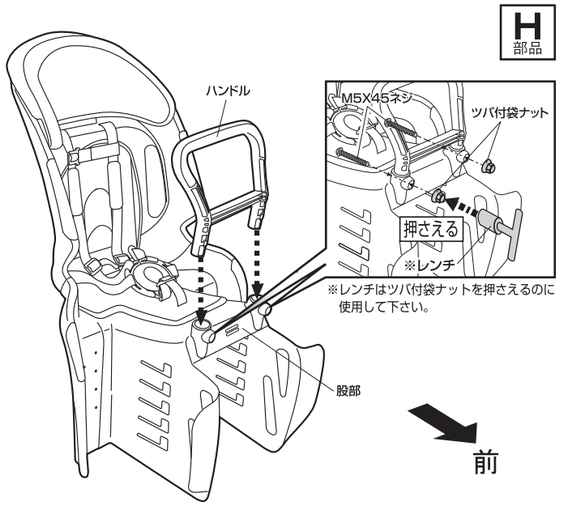
② 背もたれ部と股部のつなぎ目の中心を平座金とM5X15ネジで固定します。



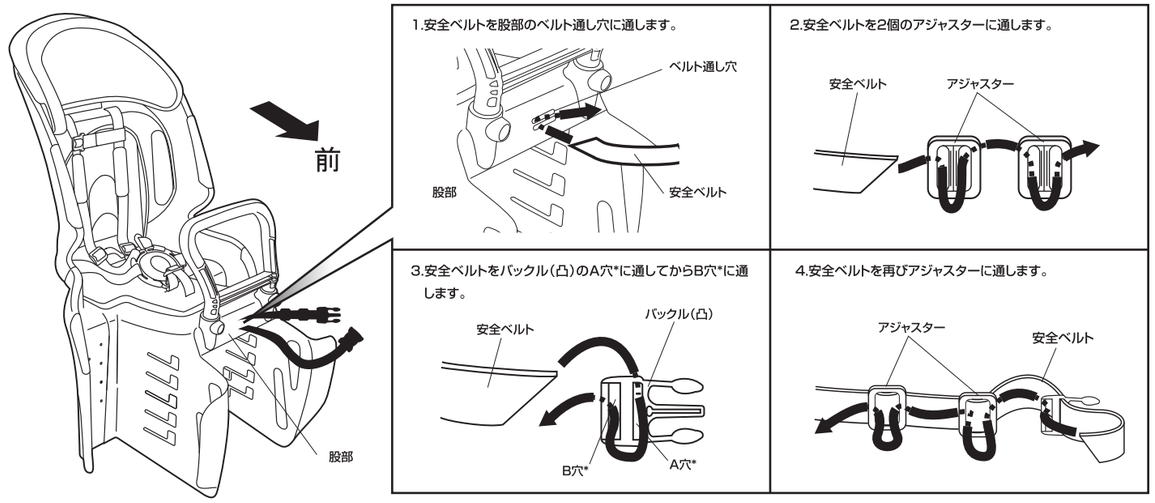
③ 背もたれ部と股部のつなぎ目の両端を平座金とネジM5X35ネジで固定します。



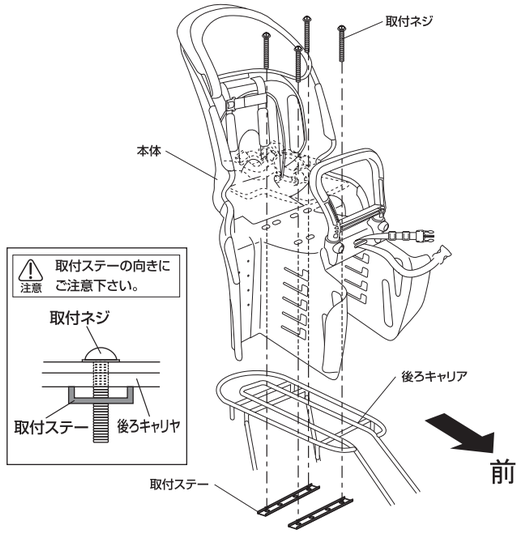
④ 本体の股部にハンドルを差込み、2箇所をM5X45ネジとツバ付袋ナットで固定します。



⑤ 安全ベルトを股部に取付けます。

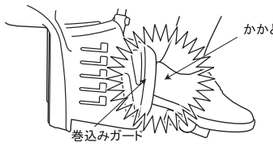


⑥ クッションシートを引っ張り上げて、本体を後ろキャリヤに載せ、取付位置を決めたら取付ステーで後ろキャリヤを挟むように取付ネジでしっかりと固定してから、クッションシートを元の位置に戻します。



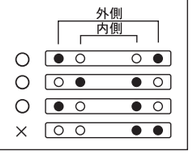
⚠ 注意

24型以下の自転車に取付ける場合、前方によせ過ぎますと運転中に子供のせの巻込みガードと運転なさる方のかかとが接触することがあります。取付の際には充分ご注意下さい。



重要:
取付ステーの穴は外側、内側のどちらを使っても問題ありませんが右側･左側だけに使用はしないで下さい。

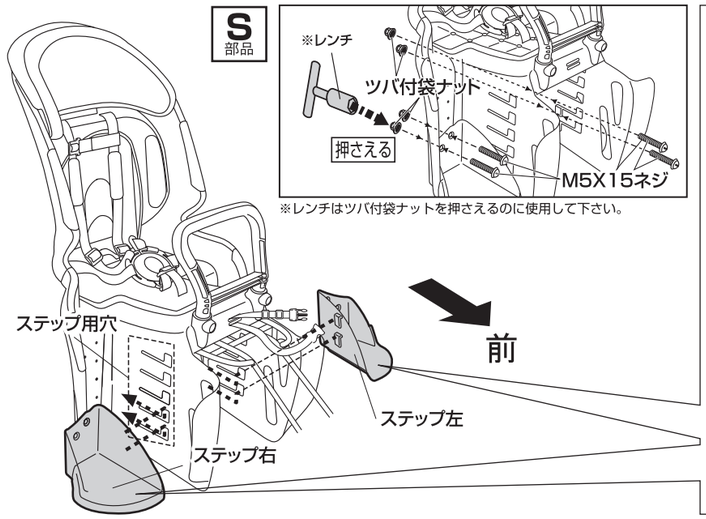
必ず●印の穴にネジを通して下さい。



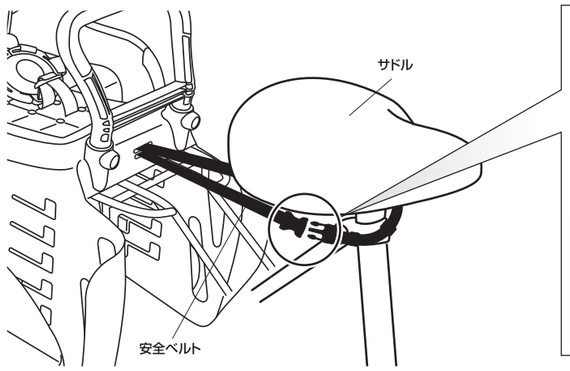
⚠ 注意

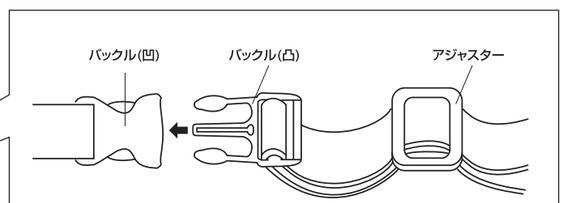
自転車のリヤリフレックスリフレクタ(後ろ反射板)の後方からの視認を妨げていないかよく確認し、妨げないようにして下さい。

⑦ ステップ右とステップ左を股部のステップ用穴に差込んで、50mm 程度後方にスライドさせ、M5X15ネジとツバ付袋ナットでしっかり固定します。



⑧ 安全ベルトを自転車のサドルに巻き、バックル (凸) をバックル (凹) に差込みます。
※安全ベルトは万一後ろキャリアが破損した際の子供のせの落下を防止します。安全の為にもご使用下さい。





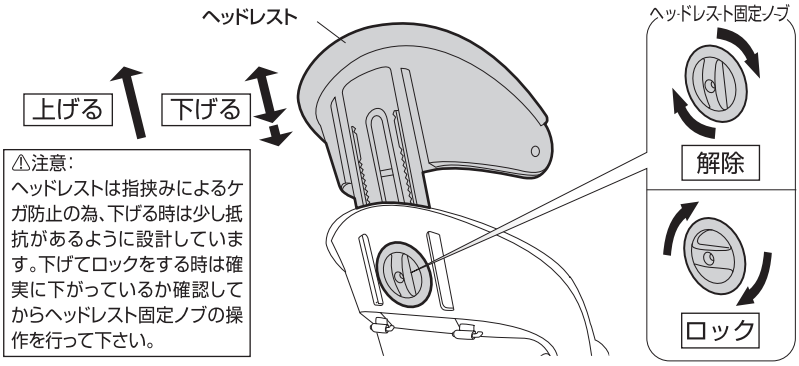
⚠ 注意

安全ベルトはぶら下げたままにしないで下さい。

安全ベルトの余った部分はタイヤなどへの巻込みがないようにアジャスターで調整して下さい。また、バックルが外れた状態での乗車はしないで下さい。

ヘッドレストの調整

必要に応じてヘッドレストが使用出来ます。背面のヘッドレスト固定ノブを解除してヘッドレストを引き出し、再びヘッドレスト固定ノブでロックします。



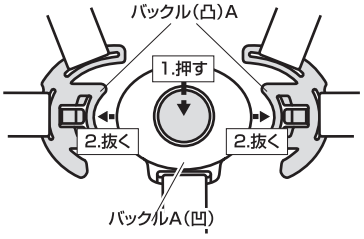
⚠注意:
ヘッドレストは指挟みによるケガ防止の為、下げる時は少し抵抗があるように設計しています。下げてロックをする時は確実に下がっているか確認してからヘッドレスト固定ノブの操作を行って下さい。

ヘッドレストは、お子様が子供のせに着座した時に側頭部の保護部分がお子様の頭部の中心より高くなるように調整して下さい。

シートベルトの着脱

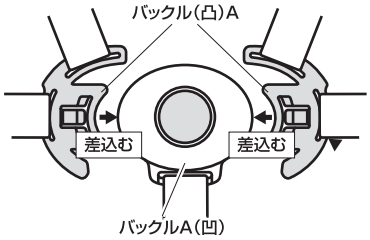
外す時

バックルA(凹)の中心にあるボタンを押してバックル(凸)Aを外します。



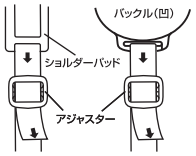
止める時

バックル(凸)Aを、バックルA(凹)に差込みます。

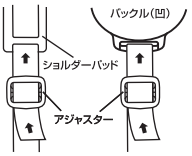


長さ調整の仕方

縮め方
各ベルトを矢印(➡)の方向へ引き縮め調整します。



伸ばし方
各ベルトを矢印(➡)の方向へ押し伸ばし調整します。



装着後は必ずしっかりと固定されているか上下左右にゆすって確認してから走行して下さい。

●本書に使用しているイラストは操作方法や構造、仕組みなどを分かりやすくするため、現物とは多少異なる場合もあります。●品質向上・改良の為予告無く仕様・デザインを変更する場合がありますので予めご了承下さい。

製造・販売 オージーケー技研株式会社
577-0066 東大阪市高井田本通6丁目2-32　TEL：06-6782-4353(代)
E-mail:info@ogk.co.jp　ホームページ:http://www.ogk.co.jp